

2021 年 6 月 1 0 日

—2021 年度千葉県代協第 1 回 C S R 委員会議事録—

開催日時：6 月 9 日(水) 1 5 : 0 0 ~ Webex 利用

出席者：大塚俊典（市原） 東條史（京葉） 田原豊（千葉） 池辺晃司（東葛） 倉富宗久（北総）
青木繁（木更津） 藤代真土（銚子新任） 伊藤綱人（茂原）

オブザーバー：小口泰伸(会長) 欠席者：間立徹（安房） 敬称略

議題内容： 2020 年度をふまえた新年度の C S R 活動について

出席を確認した後、新委員の藤代真土委員に自己紹介いただいた。

その後会長より、二年の委員会任期の 2 年目を迎えるので引き続き CSR 推進いただきたい旨。加えて会員個々の感染予防とお客様に対する対策徹底の要請があった。

1. 報告事項

委員長より、5 月 16 日の木更津市盤洲干潟の清掃活動について報告した。2 年ぶりに開催され主催者が木更津市に移管された中 700 名を集めた。代協からは木更津支部会員ならびに委員長と筒井理事が参加した。

2. 協議事項

委員長より、藤代新委員のオリエンテーションを兼ねて C S R 委員会の年間活動について報告した。大半の活動を 2020 年度からの継続事業として実施し集合実施から分散実施となること、また新規要請事業として 1. 損害保険代理業に関連した『防災、減災の推進』 2. ハザードマップに関する情報提供、普及 3. B C P 策定推進の 3 つがあることを伝えた。全体概要に続いて各事業の詳細の協議に入った。

(1) 献血活動推進について

委員長より、案内文書と特設献血会場、常設献血ルーム情報を定期的に全会員宛に周知する方法を再度確認した。6 月の案内から特設献血会場の数が増加していること。ショッピングモールや市役所等の行政機関に加え歩行者天国などここ 1 年の停滞期を脱して案内もしやすい状況であり支部内 L I N E グループなどで共有をお願いした。定期的に献血している東條委員から自身の携帯電話に赤十字から献血お誘い連絡が入り別日程別会場で実施した旨報告があった。藤代委員より健康管理を兼ねて献血を実施している旨報告があった。青木委員から献血実施の間隔がどれくらいか知りたいとの要望があった(400 ml 献血で男性は 12 週間後女性 16 週間後の同じ曜日から献血可)。委員長より各支部で役員、会員の献血実施数の把握を要請するとともに他県代協で行っている献血番付を作成した献血活性化方策を紹介した。

(2)ぼうさい探検隊マップコンクールについて

続いて委員長よりぼうさい探検隊について新年度の募集パンフレットを紹介した。

公立高校小中学校の約三割が浸水想定域または土砂災害被災リスク潜在地域に立地していることを紹介し学びの場が必ずしも安全ではない中、身を守るための気づきを促すきっかけの一つとしてこのコンクールを位置付けたいと伝えた。前回に続いて、募集パンフレットの入手方法、支部名押印と配布要領を解説した。

市原支部では郵送によって市原市内の小学校に案内する旨、大塚委員から紹介があった。小学校への案内のほか、田原委員から親族の子供会役員の方に案内する旨紹介があった。北総支部倉富委員より既に募集パンフレット 30 部を入手済みであるとの報告があった。委員長より北総支部役員の親族の小学生 2 名で応募実績があるのでその際の情報共有を依頼した。銚子支部に支部名入ゴム印を郵送する。

(3)新規要請事項 損保代理業に関連した『防災、減災の推進』ほか

新規要請事項について、三つのテーマはそれぞれ密接に関連しているので一体で検討していくことを提案した。我々損保代理業に携わる者は日々の営業の中で防災減災を必ず意識している。ハザードマップはそのツールの一つであり防災、減災を語る時不可欠な存在である。またBCPについても自店は元より顧客の法人に対して各種保険を提案する中で触れる機会は増しているものとする。このように三つのテーマは相互に関連することから当委員会でもそうした観点で掘り下げたい。

各委員ならびに自店の取り組み状況を共有した。藤代委員より自店ではBCP策定済みで代申会社のハザードマップを営業で活用していると報告があった。大塚委員から自店BCPは整備済みであったものの15号台風の襲来当日に入社して端末の入替中だったため損害確認や顧客からの照会応答に大きな支障があったとの実体験の報告があった。大塚委員の報告を受け15号台風時の実体験を委員長からも報告した。最も影響が大きかったこととして断水があった。停電することで断水することを想定することが全くできなかった。停電によって浄水施設のポンプが使えず断水するという当たり前のことに気付かされた。その中で、代理店はお客様に頼られる存在で代理店が何かに頼るようではいけないと再認識した。旨報告した。

防災、減災、ハザードマップ、BCPを語る時に実際の災害時にどうだったか何が役立ち何が役立たなかったかという視点を基に本テーマを掘り下げてはどうかと提案した。

3. その他

委員長より、継続テーマに加え新たなテーマを掘り下げて参りたい。昨年度来の経験をふまえて『出来る時に、出来る場所で、出来る方法で』CSR活動に取り組んでいくことを確認して第一回委員会を閉会した。

次回開催日未定であるが、9月第二週の代協の他行事、他事業と重複しない日時を早急に決定し案内することとする。